親子で参加できる夏の体験

おやこチャレンジ☆

夏はイベント天国！
市民活動団体が
ひらくイベントは
どれもユニークなんです

流しそうめん　虫　海　手話

のたっく 夏号

すかっこの 市民活動情報

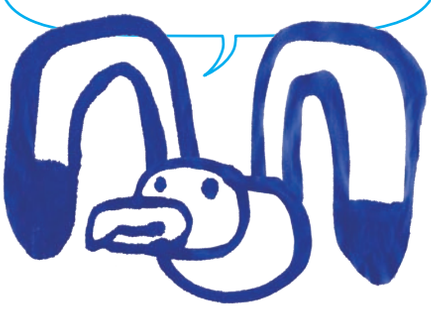
夏のイベント冊子
「夏のボラ市 2019 イベント情報」

たしあげます 情報まんさい

夏のボラ市 2019

サポセンでもらえます！

市役所やコミセンにも置いておきます。



パパやママが**自分のために**ワクワクできるお祭り
子づれでどうぞ！よこすかパパママ夏祭り

天の川、さそり座、はくちょう座
夏の星空観察会

市内の養護学校で開催。
走って良し！ 騒いで良し！
ゴロゴロして良し！

声を出して読んでみよう
ヒロシマ・ナガサキ

子育て、**片付け**、コミュニケーション
お悩み無料相談会

身近な材料でオモチャ
見てみよう　作ってみよう　手作りオモチャ教室

鳥のさえずり、**カエルの鳴き声**、
トンボもたくさん飛んです。里山づくりでリフレッシュ

硬い床に寝たり、**非常食を試食**したり
災害時の過ごし方体験

持ち物は**エプロンと三角巾**
みんなで楽しく食事を作りおなかいっぱい食べましょう

前田川の河口で**魚すくい**、
遊歩道をさかのぼり「川の水質」「生き物調べ」「源流探検」

たかがおもちゃ？ されどおもちゃ！
Good トイで遊ぶ『おもちゃのひろば』

地域の高齢者の方や子育て中方たちが集います
楽しい時間を**コミュニティーカフェ**で

いっしょに**海の生物**をのぞいてみませんか？
海の観察会をおこないます。

パエリア・夏野菜サラダ・
スイカのゼリーを作りましょう

安全な使い方、とぎ方
親子で**包丁**を知ろう

覚えた手話を使って
耳の聞こえない人とお話してみませんか？

猫でまちおこし
『猫フェス』をひらきます

三笠公園 SL 広場
みんなで**野外映画**を観ましょう

難病の子ども達を支援するために
募金活動をします！

広島長崎に奉納するための
千羽づるをみんなで折ります！

横須賀カルタ**真夏の大会**
戦艦三笠でやります！

ソーラン**踊って**暑い夏をのりきろう

ひと ～市民活動を支える人たち～

よこすかパパママ学園　**石田 愛**さん

運動選手を思わせる歯切れの良さ、よこすかパパママ学園の生徒会長、石田愛さんにお話を伺った。

１９８４年横浜市鶴見区、總持寺の門前に生まれた。１歳からスイミングスクールに通い小学校３年生からは選手コース隣り毎日通った。学校が好きな優等生タイプだった。二歳、三歳下の弟妹思いの姉。人前に立つようなことはなく、弟妹たちの世話を焼きながら近所で遊んだり、本を読んだりして過ごしていた。

高校では、水泳部。母が放課後スクール（横浜市の学校に置かれている、公的な学童保育）のスタッフをしていたことから、そこのボランティアをつとめた。

子どもたちと過ごした楽しい経験と長く励んできた水泳、この２つを生かせることはないかと考え、体育科に進むことを決心した。

教育学部の初等教育体育専攻に進学。サークルなどには入らず、勉学とボランティア、アルバイトに明け暮れた。卒業後は、中区の小学校で教職に就いた。クラスの子がすごくかわいくて、毎日一緒にいるのが、大変なんだけれど幸せだった。3 年ほど勤務した頃、出産のために休職した。

教員をしていたときは、朝から晩まで忙しく働いた。休職してからは、子育てだけの生活になった。人付き合いも限られてしまっていて、何も喋らないような日もあった。小学校教諭という子どもの専門家であり、生まれ育った地元での子育て、母親とも同じ家で暮らしていた。そんな中でうまく行かないことがあっても、大丈夫だと思い込み、それが逆に悩みやストレスになっていた。

「外に出よう」と思いたち、オンラインで発信している、よかよか学院と出会う。他の世界がある、いろいろな見方がある、ということに気づいたとき、急に肩の力が抜けて楽になった。子どものことだけでなく、自分のことも考えて楽しく生きたいと思った。

もっとよい自然に恵まれた環境で暮らしたいと、横須賀（浦賀）に家を求めた。広い公園があったり、海があったり、虫がいたり。ご主人も、子どもと遊ぶ機会も友人も増えた。移り住んでから、お祭りが盛んで、人があたたかいことに気づいた。

昨年末、友人とパパママサークルのネットワークを作ろうと声をかけ、始まったのがよこすかパパママ学園。さらに、幼稚園や商店街も巻き込んで、よこすかパパママ夏祭りを開催しようと活動している。

石田さんの夢は、学校を作りたい・・・誰かがいて、自分の思ったこととか好きなことができる、言えるような場所。おじいちゃん、おばあちゃんが子どもたちとかかわりたいという思いがあっても、場所や機会が無いことや、他の世代や子どもたちから学ぶ事が多いことを知り、そんな学校ができたらいいなと思った。

「学校が街を変える、教育が街を変える。学校が魅力的になれば､絶対そこには人が集まる」と語ってくれた。

自分の経験、体験を元に、新しい世界を広げて行く石田さん、新しい街の夢を語る姿に、嬉しくも楽しくなった。

（はこざき）

開催

大人が子づれでも、本気で楽しめるお祭り

『令和元年度 よこすかパパママ夏祭り』

日にち：2019 年 7 月 20 日（土曜日）

会場と時間：

横須賀幼稚園 15:00 - 19:00

ドブ板広場（ドブ板通り商店街内）10:00 - 19:00

団体紹介

団体名　**よこすかパパママ学園**

活動内容　パパママが自分らしく楽しむためのイベント企画・運営、私たちおとな自身が新しい価値観に気づくための講座なども開催しています。

おしえて ぬまちゃん

市民活動はちいさい疑問から！ のたろんが市民活動のことをサポセンスタッフぬまちゃんにききます。

あら、のたろん。利用票をじっと眺めてどうしたの？

あのね、活動分野に丸をつけるのは分かったんだけど、どういう活動なのか分からない分野があるのー。環境保全とか災害救援ってイメージできるんだけど、「まちづくり」ってどんな活動のことを言うの～？

「まちづくり」はね、まちおこし、地域の活性化を目的とした活動っていう感じかな。商店街の活性化とか、町並み保存活動、歴史的な建造物なんかの保存をするような活動がイメージしやすいかもしれないわね。

えーっと、こんな町に住みたい、こんな風だったらいいなって自分たちで理想の町つくっていくような活動かな？　言葉にするの難しい！

うんうん。他にもね、高齢者が暮らしやすいまちを作る活動も「まちづくり」ね。今、横須賀市では「ちょっとした困りごと」を「おたがいさま」で助け合う支え合い活動を広める施策が進められているんだけれど、その活動を支える団体もこの活動に当てはまりますね。

そっか、建物とか風景とかそういう事だけじゃなくて、人と人の繋がりだったり、精神的なこと？　って言えばいいのかなぁ、そういうことも「まちづくり」になるんだね！

そうね、自分たちが住んでいる場所をちょっとでも良くしたいとか、ホントに身近なことも「まちづくり」なのよ。だから町内会自治会活動なんかも、この分野に当てはめているのよ。

そうなんだ！　町内会も「まちづくり」なのかぁ！　じゃあ町内会でやる盆踊りの打ち合わせにサポセンに来たときは「まちづくり」に〇をつけたらいいんだね！

正解！　町内会のイベントは「まちづくり」と言っていいわね。町内会じゃなくてもイベントで街を盛り上げる活動などはこの分野になります。

えー！　じゃあのたろんまちづくり得意だよ！　イベントに参加して盛り上げるの好きだもん！

いつものたろんフェアでも大活躍だものね、あれもまちづくりの活動になるんじゃないかな。

じゃあのたろんの特技は「まちづくり」ってことにしようかな！

なんか市長選にでも立候補しそうな特技ね・・・。

第2話 『錦鯉』ってどんな味？

甘党錦鯉

やってきました「甘党錦鯉」第2話。皆様いかがお過ごしでしょうか。前回は「庭に池を掘る！」で終わっておりましたが…今日も筆者は水槽の前で愛する錦鯉の観賞をしております。「池を掘る」って結構ハードル高いんだよなぁ、これが。そんな前回の記事を見て、「『甘党錦鯉』ってなんだ？」と思われた方、おられませんか？

お答えしましょう、その疑問。この「甘党錦鯉」、「甘いものが大好きな錦鯉の話」…ではなく、「甘いものが大好きな筆者が飼っている錦鯉の話」です。甘党なのは筆者というわけ。みたらし団子をほおばりながらの錦鯉観賞は筆者至福の時でもあります。

そんなわけで、暇さえあれば甘いものを検索する日々。先日は「錦鯉　スイーツ」で検索をしてみました。そしたらなんと…ありました、錦鯉のお菓子。といっても、錦鯉が材料に使われているわけではなく（当たり前か？）、「錦鯉をかたどったお菓子」で、少なくとも2種類、長崎と新潟で作られているようです。

長崎では、「鯉菓子」という端午の節句のお祝いのお菓子があるそうです。急流を勢いよく上る鯉の姿に、子供の成長と出世を祈るという風習があるとのこと。こちらは4月～5月の期間限定販売なので、来年挑戦してみましょう。

新潟はいわずもがなの錦鯉の産地ですね。だからなのか、錦鯉をかたどった「最中」を明治から続く和菓子屋さんが作っているようです。新潟では「野池」という巨大な池で将来有望な錦鯉を育てることもあるそうで、筆者としても後学のために行ってみたい土地でもあります。野池のほとりで和菓子をモグモグ…いいなぁ。

とまぁ、甘党の筆者がお送りする「錦鯉の話」、今後もお楽しみいただけましたら幸いです。

「庭に池を掘る！」筆者の挑戦の日々は続く。（小串滋彦）

********* サポセンtopicsトピックス

サポセンスタッフ紹介

新しいスタッフが仲間入りしました。

ささきです♪

たかはしです。

はやさかです。

特技はなんですか？と、うかがうと「泣いてるこどもも瞬時に笑顔にしてみせますよ (^_^)」と、佐々木さん。みなさん子ども大好きです。どうぞお気軽にお声がけください。
あと、6月1日より沼崎が館長になりました。

のたろんがお送りする「のたろんジャーナル」

◆サポセン発信情報
◆E メール info@yokosuka-supportcenter.jp
◆サポートセンターのホームページ
「のたろん Web」は“のたろん”で検索♪

のたろんジャーナル

のたろん　検索

情報誌「のたろん」夏号（通巻 79 号）　2019 年 7 月 1 日
発行 横須賀市立市民活動サポートセンター
編集 指定管理者 特定非営利活動法人 YMC A コミュニティサポート
横須賀市本町 3-27（京浜急行汐入駅徒歩 1 分）
TEL ０４６－８２８－３１３０
FAX ０４６－８２８－３１３２

市民活動サポートセンターは、市民活動、ボランティア活動の打合せや作業、情報収集を行なう施設です。ご利用の際は受付にて利用票のご記入をお願いします。

編集ボランティア／はこざき・みずたに・おぐし
スタッフ／ぬまさき・のぎむら